

## 足柄上病院と小田原市立病院の機能・連携方策に係る意見交換会について

## 1 趣旨

県立足柄上病院は、足柄上地域の中核的医療機関として重要な役割を果たしているが、人口減少と高齢化が進展する中、地域包括ケアシステムの推進及び地域医療構想を実現し、将来にわたり質の高い医療を安定的に提供していくためには、足柄上地域を含む県西地域全体で医療資源の効率的な運用と連携を図ることが不可欠である。

これを踏まえ、県は、神奈川県立病院機構第三期中期目標において、足柄上病院の機能や地域における役割、医療資源の効率的な活用、地域の医療機関との機能分担・連携等について、第二期に引き続き検討することとした。

また、国においても、公立・公的医療機関の役割や連携について改めて検証を求める動きがあり、地域での議論を深める必要がある。

そこで、足柄上病院の将来構想を検討するにあたり、地域の拠点である公立2病院（県立足柄上病院及び小田原市立病院）の機能・連携方策について重点的に議論することを目的に意見交換会を設置する。

なお、意見交換の結果等については、県西地区保健医療福祉推進会議及び病床機能分化・連携ワーキンググループに適宜報告するなど、密に連携を図る。

## 2 構成員

区分	団体・職	氏名
神奈川県	健康医療局技監兼保健医療部長（座長）	前田 光哉
	健康医療局県立病院担当部長	山崎 育子
病院及び運営主体	地方独立行政法人神奈川県立病院機構理事長	吉川 伸治
	神奈川県立足柄上病院長	牧田 浩行
	小田原市副市長	加部 裕彦
	小田原市立病院長	川口 竹男
自治体	南足柄市副市長	星崎 雅司
	中井町副町長	加藤 幸一郎
	大井町副町長	井上 伸治
	松田町副町長	田代 浩一
	山北町副町長	山崎 佐俊
	開成町副町長	加藤 一男
	箱根町副町長	勝俣 浩行
	真鶴町副町長	青木 剛
医療関係者	湯河原町副町長	露木 高信
	小田原医師会会長	渡邊 清治
	足柄上医師会会長	飛弾 康則
	県西地区保健医療福祉推進会議病床機能分化・連携ワーキンググループ座長（県病院協会常任理事）	南 康平
事務局 （神奈川県）	健康医療局県立病院課長	鈴木 鎮夫
	健康医療局保健医療部医療課長	足立原 崇
	健康医療局小田原保健福祉事務所長	丸山 浩
	健康医療局小田原保健福祉事務所	渡邊 直行

- ・意見交換会は非公開とする。
- ・意見交換会で議論された内容を具体的に調整する場として、必要に応じ個別の構成員や実務担当者等による打合せを行う。また、テーマに応じて構成員以外の関係機関等に参加を依頼する。

### 3 スケジュール

年度	時期	テーマ（案）
令和元年度	令和2年2月3日（月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県西地域の医療を取り巻く状況</li> <li>・ 足柄上病院、小田原市立病院の方向性、目指す姿など</li> <li>・ 2病院の連携について</li> </ul>
令和2年度	7～8月頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2病院の機能分担、連携について（診療領域別）</li> </ul>
	1～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2病院の機能分担、連携について（診療領域別）</li> </ul>
令和3年度以降～ （年に2～3回の開催を予定）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における効率的な医療資源の活用などをはじめ、2040年を見据えた長期的な視点からの検討</li> </ul>

- ・意見交換の結果等については、県西地区保健医療福祉推進会議及び病床機能分化・連携ワーキンググループに適宜報告し、地域医療構想の実現に係る総合確保基金の活用などについての議論があれば、地区推進会議等において別途議論する。

（参考：令和3年度から基金を活用する場合）

令和2年9月頃まで 地区推進会議における地域の合意

10～12月 県庁内の予算調整

令和3年2～4月 国へ説明・調整

9月以降 国から内示（予定）